

# 意見交換会アンケートの結果

参加者134人中、117人の方から回答をいただきました。ここでは意見交換会へ寄せられた感想やご意見の一部を紹介します。詳細は、市議会ホームページで紹介しています。

## アンケートに寄せられた感想やご意見の紹介（一部抜粋）

- ・初めての参加だったのですが、もっと市民が参加できるような広報を行うことで街全体を巻き込んでいけるのではないのでしょうか。
- ・意見交換会の報告あるいは今後このことをどう活かすか市民に知らせてほしいです。
- ・議会で決定した事項について、どのように進んでいるのか、市民に分かりやすく説明してもらいたい。
- ・我が町内で参考にしたいという意見がたくさんあり大変良かったと思います。私の町内では子どもがいない高齢者がほとんどです。やはり高齢者に対しての施策が必要だと思います。
- ・もう少しグループで話しやすい感じでお互い意見交

換ができればいいと思いました。要望書等、各団体が出していると思うのでそれにも目を通していただければ、子育て世代のこともわかると思います。

- ・各地域の実績に関する資料があると、各地域の発表内容がよく伝わると思った。立派な発表であるだけにとても残念に思った。

利用者のニーズのしっかりした把握、継続的な取り組み、今日のような情報交流会は大切だと思う。

色々なご意見をいただきました。今後、意見交換会を開催するうえでの参考としたいと思います。ありがとうございました。

# 令和元年12月定例会の概要

12月議会は、令和元年12月3日から17日までの15日間で開催されました。今定例会では、一般会計補正予算(第5号)案ほか、52議案を審議し、それぞれ可決しました。

## 補正予算特別委員会（概要と質疑の抜粋）

主なものは、本市の職員数の減に伴う8621万円の減額や、新庁舎建設費に伴う起債1億9千万円の減額。清掃工場に搬入される災害廃棄物処理にかかる電気使用料が増加したため2千万円増額、宿泊施設改修費等補助事業の申請件数が当初の見込みを上回ったため、2400万円増額、コミュニティFM放送の不感地域対策の実施設計460万円を増額するもの等です。

### 期末手当の改定について

**問** 三役及び議員の期末手当への影響額は。また人事院勧告に準じて引き上げることは是非は。

**答** 影響額は、市長が5万6580円、副市長が4万4640円、教育長が3万9900円、議長が3万1800円、副議長が2万8500円、議員が2万5680円である。これらの特別職の期末手当は、生活給の一部であると捉えており、人事院勧告に準じて引き上げを行うことは、合理性があるものと考えている。

### 乳幼児健診について

**問** 乳幼児健診の情報を、保護者や本人がマイナンバーカードを活用することで、一元的に確認できるシステムとは、どのようなものか。

**答** 国が母子保健に関する情報について、行政間で連携を可能にするシステムを、令和2年6月から稼働させる予定であり、本市もそのシステムに参画することで、マイナンバーカードを持っている保護者や本人が、出生時や健診時などの情報を閲覧できるようになるものである。

### 宿泊施設改修補助金について

**問** 市内の宿泊施設を対象にした宿泊施設改修費等補助事業について、現在の補助金交付状況は。

**答** 3件の交付を決定。内容は、客室内外の案内表示やホームページの多言語化、また、トイレ・浴室等の改修である。

### 引き上げるための財源は、被災者の支援に活用するべきと考えることから、反対である。

**【採決】** 議第62号については起立採決の結果、賛成多数、他4件については、全員一致で原案どおり可決した。

### 【反対討論】

市の特別職の期末手当を人事院勧告に準じて0・05月分引き上げるのは、市民の理解は得られないと考えている。また、特別職の期末手当を

